

## 後期基本計画 令和 4年度 施策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

基本施策：03 河川砂防・雨水排除施設の整備

施 策：01 安全安心な雨水排除施設の整備

<b>施策担当職・氏名</b>	河川課総括主査 伊藤 圭晃
-----------------	---------------

### 1. 施策の令和 4年度までの実現状況を明らかにする

#### (1) 施策の内容

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然と共生し、潤いと安らぎのある水辺空間の創造を目指します。</li> <li>・台風や局地的集中豪雨による降雨災害に強い、安心できる河川や排水路の整備、管理を目指します。</li> <li>・都市化の進展により雨水の短時間流出量が増加しており、また最近は、局地的な集中豪雨により、浸水による被害が増加傾向にあることから、これらの浸水被害が過去に発生した箇所あるいは今後新たに発生する恐れのある箇所について雨水排水施設の整備が推進されることにより、市民の安全安心な暮らしが保たれている状態を目指します。</li> </ul>
--	--

#### (2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 災害に強いまちだと感じている人の割合 単 位 %	52.1	52.1	52.1	52.1	52.1	52.1	D
	単 位		55.3	51.3	47.1	51.1	51.1	0.0
	単 位							
	単 位							

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1	1349 河川維持管理事業 河川愛護団体の組織化数 単 位 団体数	目標値	7	7	8	8	8	8
		実績	7	8	8	8	-	-
2	11170 電源立地地域対策交付金事業 単年度改修工事延長 単 位 m (式)	目標値	47.4	32.8	0	0	32	35
		実績	47.4	61	0	0	-	-
3	13792 下水道整備事業 (雨水) 雨水排水施設整備面積 単 位 ha (累計)	目標値	262	264	262	263	264	265
		実績	262	262	269	269	-	-
	単 位	目標値						
		実績						
	単 位	目標値						
		実績						

## 後期基本計画 令和 4年度 施策方針評価書

政 策 : 04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

基本施策 : 03 河川砂防・雨水排除施設の整備

施 策 : 01 安全安心な雨水排除施設の整備

施策担当職・氏名 河川課総括主査 伊藤 圭晃

## 2. 施策の実現に向けての令和 4年度までの取り組み状況を分析する

## (1) 施策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

C	一部達成した
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域協働（自治会、愛護団体及びシルバー人材センター）による河川維持等（委託による草刈等やカワシンジュガイの移植）への取り組みを実施しました。</li><li>・準用河川仁沢瀬川の改修（設計、用地補償、工事等）を実施しました。</li><li>・河川台帳整備を検討を行いました。</li><li>・大釜排水区の浸水対策事業（設計、工事等）を実施しました。</li><li>・河川整備計画の検討を行いました。</li></ul>	

## (2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和 4年度の重点課題の達成（実現）状況

A	達成した
【重点課題】 <ul style="list-style-type: none"><li>・緊急浚渫推進事業債を活用した、河川等の堆積土砂撤去に係る事業の推進を図ります。</li><li>・電源立地地域交付金など特定財源に係る事業の継続推進に努めます。</li><li>・河川改修事業及び下水道事業（雨水）を効率的に運用した事業の推進を図ります。</li></ul> 【重点課題に対応した達成状況】 全ての課題（事業）について、推進を図りました。	

## 3. 施策の実現に向けての令和 4年度実施後での変化を認識する

## (1) 施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
近年、局地的な集中豪雨や地震などによる災害が多発してきており、市民の生命と財産を守るため、災害に対する予防保全対策としての通常の維持管理の重要性が高まっております。	

## (2) 基本施策との関連性から施策の見直し

A	必要なし
基本施策達成のため、引き続き同一内容の基本施策の実施が必須であるため、見直しの必要はありません。	

## 4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

## (1) 令和 6年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
【今後の方向性】 河川の適正な維持管理など短期的緊急的な取組みを第一に優先し、その他多大な時間と費用を必要とする浸水対策事業について、浸水想定区域のシミュレーションを計画的に進める必要があります。 【引継課題】 浸水対策事業については、施設整備の継続と浸水想定区域のシミュレーション実施を計画します。	

